

7月22日 アラスカ半島の地震

2020年7月22日15時12分（日本時間、以下同じ）にアラスカ半島の深さ28kmでMw7.8の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震は発震機構（気象庁によるCMT解）が北北西-南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと北米プレートの境界で発生した。

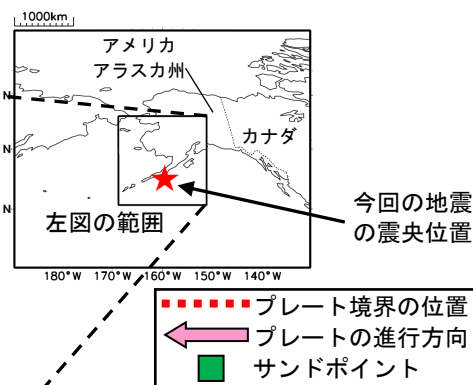
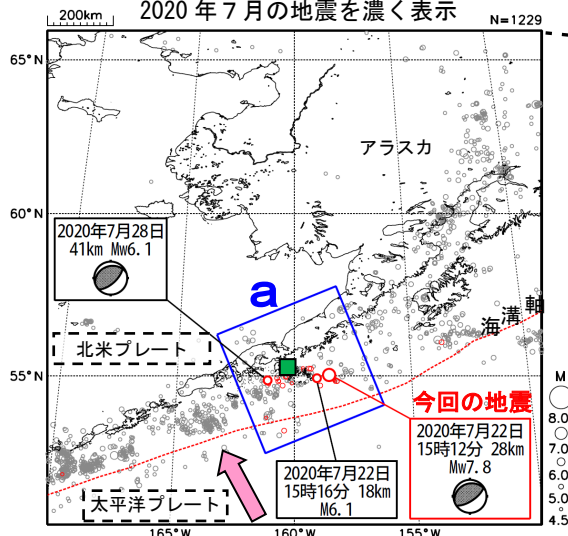
気象庁は、この地震により、遠地地震に関する情報を同日15時50分（日本沿岸で若干の海面変動あり）と同日19時50分（現地でも津波を観測）に発表した。この地震によりサンドポイント（米国アラスカ州）で0.24mの津波を観測した。今回の地震の震央周辺（領域a）では、この地震の後、同日15時16分にM6.1の地震、また、7月28日にもMw6.1の地震が発生した。

2000年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域a）では、時々M6.0以上の地震が発生している。

1915年以降の活動をみると、アラスカ周辺では、1964年3月28日に最大級規模の地震（アラスカ地震）（Mw9.2）が発生し、死者131人等の被害が生じている。

震央分布図①

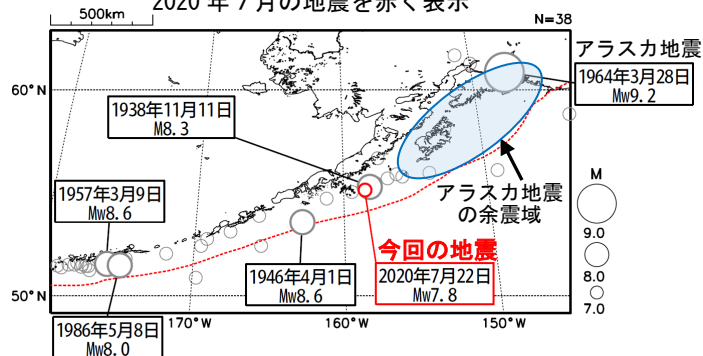
(2000年1月1日~2020年7月31日、
深さ0~200km、M \geq 4.5)
2020年7月の地震を濃く表示



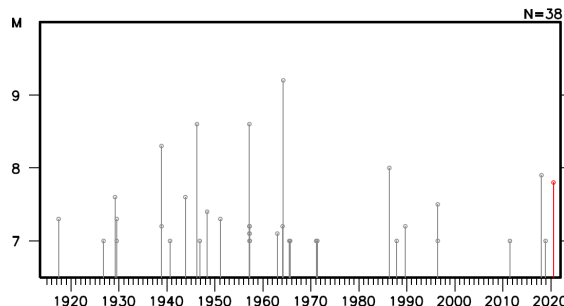
プレートの進行方向は、北米プレートを固定した場合の相対的な方向である。

震央分布図②

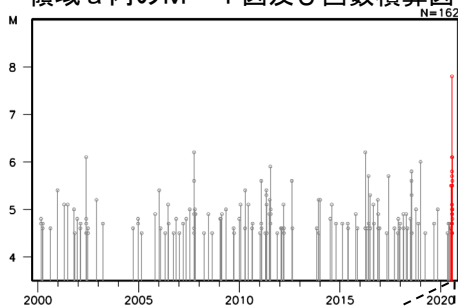
(1915年1月1日~2020年7月31日、
深さ0~200km、M \geq 7.0)
2020年7月の地震を赤く表示



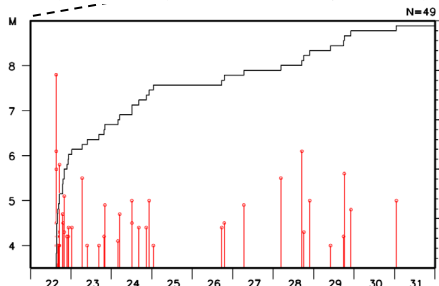
上図内のM-T図



領域a内のM-T図及び回数積算図



(2020年7月22日~31日、M \geq 4.0)



※本資料中、震央分布図①内の今回の地震の発震機構とMwは気象庁、その他の地震のMは米国地質調査所（USGS）、発震機構はGlobalCMTによる。震央分布図②内の2016年以前の地震の震源要素は国際地震センター（ISCGEM）による。その他の震源要素はいずれも米国地質調査所（USGS）による（2020年8月3日現在）。1964年3月28日の地震（アラスカ地震）のMと被害は宇津の「世界の被害地震の表」による。津波の高さは、米国海洋大気庁（NOAA）による（2020年8月3日現在）。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）*より引用。*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4 (3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.